

テビムブラ+FP療法【1コース目】(Day1)

【外科】300-1【食道癌】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:		
医師名:	印		
身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 3週ごとを1コースとする

Day	1	2	3	4	5	6	~21
施行日	/	/	/	/	/	/	/
テビムブラ	↓	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬	
ランダ	↓	休薬	休薬	休薬	休薬	休薬	
5-FU	↓	↓	↓	↓	↓	(終)	

■投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	
①	フィルター付き輸液ルートを使用 生食 50mL 10分
②	●テビムブラ【 】mg 生食 50mL 1時間
※③	生食 500mL 3時間
※③	アロカリス注235mg 1V デキサート注1.65mg 2A デキサート注6.6mg 1V パロノセトロン注0.75mg 1V 生食 100mL 30分
④	KCL注10mEq 硫酸Mg補正液1mEq/mL 8mL 生食 500mL 1時間
⑤	マンニトールS 300mL 30分
⑥	●ランダ【 】mg 生食 500mL 1時間
※⑦	●5-FU【 】mg テルモ生食 1000mL 24時間 ※輸液ポンプを使用すること
※⑦	KCL注10mEq 生食 500mL 1時間

■投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量
テビムブラ	200mg/Body
ランダ	80mg/m ² /day
5-FU	800mg/m ² /day

入力 薬剤師	看護師	看護師

■注意・確認事項

- 中心静脈から投与すること。5-FU投与時は輸液ポンプを使用すること。
- 主管点滴ルートは、フィルター付き輸液ルートを使用すること。
- テビムブラは初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる。
- 腎障害予防のためにハイドレーションに留意すること。
- 糖尿病でないことを確認し、必要に応じてジプレキサ錠5mg(内服オーダー)をday1,2,3,4に投与する。